タウンニュース®

川崎区・幸区版

2024年（令和6年）8月16日(金)号 No.845

■発　行：株式会社タウンニュース社　https://www.townnews.co.jp
■編集室：〒211-0042 川崎市中原区下新城三丁目14-7　TEL：044-741-4111（代）FAX：044-741-4002
■発行責任者：宇山 知成
■編　集　長：金屋 大輔

■川崎区・幸区版は毎週金曜日発行です

令和6年能登半島地震災害義援金

2024年12月27日(金)まで

日本赤十字社では、義援金を募集しています。ご支援をお願いします。

協力方法の詳細は二次元コードからご確認ください。

URL https://www.jrc.or.jp/contribute/help/20240104/

（問）日本赤十字社神奈川県支部　☎045・681・2123（代）

川崎市　自動運転バスを実証実験

都県またぐルート　全国初

川崎市は8月2日、来年1月から路線バスによる自動運転の実証実験を行うプロジェクトを発表した。ルートは、大師橋駅（川崎区）から天空橋駅（東京都大田区）を結ぶルートなど2ルートで、都道府県をまたぐ走行ルートの実証実験は初。市では、2027年度中の実装と、自動運転技術の活用や企業との連携、バスの運転手不足対策として「川崎モデル」の構築に意欲を見せる。

自動運転バスに関係する事業者ら

今回、川崎市が発表した路線バスによる自動運転の実証実験は、特定地域でシステムが周辺環境を認識し、ドライバーが不在の中で走行する「レベル4」の27年度中の実装に向けて行われるもの。事業主体は川崎市、運行事業者は川崎鶴見臨港バス㈱が担い、9社が関係事業者として参画する。期間は、2025年1月13日頃からテスト走行を行い、1月27日頃から10日間実証運行を行う予定だ。

運行するのは、大師橋駅から多摩川スカイブリッジを通って天空橋駅まで向かうルート（片道4・4㎞）、川崎駅前から市立川崎病院までのルート（片道1・3㎞）の2つ。大師橋駅から天空橋駅までのルートは、異なる自治体、警察が所管するエリアで初の自動運転の実証実験になる。

使用する車両は最新型のEV車両で、走行中は搭載されている高精度3次元地図情報とセンサー技術に加え、信号情報を連携。最高速度時速35㎞での運行を予定。今年度の実証実験期間中は、運転手が乗車し、車両走行中にハンドル操作や加減速操作をシステムで行うレベル2で運行し、乗客は15人まで。乗車賃は無料を予定。今年度得たデータを生かし、来年度中に警察からレベル4での運行許認可を取得し、実証実験を行い、27年度中の実装を目指す。

運行ルート（川崎市提供）

運転手不足対策に

今回の実証実験の背景には、バスの運転手不足が挙げられる。運転手不足等によって、川崎市内の路線バスが18年から1日あたり2000便減少しており、その対策の一つとして期待を寄せる。加えて、自動運転技術を活用し、さまざまな企業と連携することで地域課題の解決や、自動運転を生かしたまちづくりを目指す「川崎モデル」を構築し、他地域への展開も視野に入れる。

8月2日に行われた記者会見で福田紀彦市長は「運転手不足、地域交通の存続は喫緊の課題。都市部でレベル4の実装を行うことで、全国展開への道しるべになりたい」と意欲を見せている。

川崎市　アメフト試合に市民招待

富士通スタの3ゲーム

川崎市は富士通スタジアム（川崎区富士見）で行われる社会人アメリカンフットボールXリーグ秋季戦への川崎市民招待を行っている。

対象試合は①9月16日（月・祝）午後1時30分キックオフ／富士通フロンティアーズ対オリエンタルバイオシルバースター②10月13日(日)午後1時30分キックオフ／富士通フロンティアーズ対オール三菱ライオンズ③11月9日(土)午後1時キックオフ／富士通フロンティアーズ対IBMビッグブルー。

いずれも10組20人で川崎市民限定。高校生以下は観戦料が無料のため応募は不要。8月25日午後11時59分まで専用フォーム（https://logoform.jp/form/FUQz/678321）で受け付けている。試合の詳細についてはXリーグの公式ウェブサイトで確認できる。

二次元コードからも応募できる

9月1日　「メディホス川崎大師」オープン！

「寄り添う心で感動の絆を」

ホスピス医療支援住宅　スタッフ募集

充実したサービスを目指し、自分たちに何ができるのか―。川崎区四谷上町に、末期がんや難病の療養者や家族に寄り添った話題のホスピス医療支援住宅（俗称）「メディホス川崎大師」が9月1日(日)に開所する。

「私たちは24時間介護士・看護師が連携し、訪問診療医との連携で医療処置を行います。病院でもない、自宅でもない、第3の居場所です」と運営するメディホスのスタッフの加藤さん。

ホスピス医療支援住宅は川崎大師で8カ所目。神奈川、東京、山梨、静岡で、訪問看護事業の先駆けとして、長年にわたって取り組んできた同社の「ホスピタリティ精神」の経験を反映。入居者の「～したい」を叶えられる体制づくりに取り組み、日本の医療が抱える療養者と家族の生活の質の向上に努めている。

働く介護士、看護師たちは日々、全力で可能性を追求。その情熱と使命感が療養者とその家族の心をも動かしている。

「最期がメディホスで良かった」そんな感謝の声がやりがいという。まさに、ホスピタリティの先に感動がある施設だろう。また、医療介護士制度を社内で創設するなど、同社は未来に必要な介護士を育成する環境づくりにも勤しむ。

現在、オープニングスタッフを募集。介護士、看護師、リハビリスタッフでいずれも正職員とパート40人。「従来の老人ホームとは一線を画したホスピス医療支援住宅で、あなたの可能性を一緒に伸ばしましょう」

メディホス 川崎大師
お問合せ
☎045-315-7450
川崎区四谷上町1-11

ガーデニング講習会

9月から全4回　大師公園などで

川崎市と大師公園管理指定者・石勝エクステリアは全4回の「ガーデニング講習会」を9月6日から27日までの毎週金曜日、大師支所第3会議室と大師公園で開催する。時間はいずれも午前10時30分から正午。

宿根草のナチュラルガーデンをテーマに、ガーデニングの基礎知識を学び、ハロウィーンにあわせた植物の組み合わせ、公園内のプランターや花壇への植栽に挑戦する。講師は1級造園施工管理士で園芸福祉士の音田沙織さんが務める

定員は先着20人。参加費は無料、教室参加時には軍手の持参が必要。全4回受講できる人だけの受付。申し込み、問い合わせは同公園管理事務所☎044・276・0050、受付時間は午前9時から午後5時。

講師を務める音田さん

川崎区内　みこし渡御 包まれる熱気

川崎区内各地でみこし渡御が8月4日に行われ、「ヨイサー」といった威勢のいい掛け声が響き渡った。

大師地区では周辺町会13基のみこしが若宮八幡宮から川崎大師平間寺までを練り歩き、大山門から大本堂前に参集した。田島地区では大島八幡神社の例祭が行われ、氏子町会のみこしが追分に集結し、宮入を行った。稲毛神社の「孔雀」「玉」と呼ばれる宮みこしは氏子23町内会を巡幸した。

◀「お山入り」を行ったみこし

▲みこしを揺らす人たち

貝塚を練り歩く担ぎ手▶

広告・記事のお問い合わせは☎044・741・4111 川崎区・幸区編集室へ